



平成 22 年 10 月 26 日

各 位

会社名 札幌北洋ホールディングス
(コード番号 8328 東証第 1 部・札証)

**平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正並びに
平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績概要(速報値)に関するお知らせ**

平成 22 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)の業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

併せて平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績の概要(現時点における速報値)についてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位: 億円)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	840	95	75	23 円 23 銭
今回修正予想(B)	866	187	113	32 円 94 銭
増減額(B) - (A)	26	92	38	
増減率(%)	3.0	96.8	50.6	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	923	164	149	37 円 57 銭

(2) 業績予想の修正理由

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績に関しましては、政策効果に加えて、経営改善支援などの金融円滑化への積極的な取組みにより取引先企業の業績悪化や倒産が減少し、信用コストが前回発表予想を大きく下回る見込みとなったことを主因に、経常利益は 187 億円と前回予想比 92 億円の増益、中間純利益は 113 億円と前回予想比 38 億円の増益となる見込みです。

なお、平成 23 年 3 月期通期の業績予想につきましては、現在集計中であり、平成 22 年 11 月に予定しております第 2 四半期決算発表時にお知らせいたします。

2. 平成23年3月期第2四半期連結累計期間の業績の概要（速報値）

（1）札幌北洋グループ連結の損益状況

- ・平成22年3月期第2四半期累計期間の連結コア粗利益は、有価証券利息配当金の増加などにより、資金利益が前年比16億円増加したことを主因に、613億円と前年比6億円増加の見通し。
- ・経常利益は、信用コストの減少を主因に、187億円と前年比23億円増加の見通し。
- ・北洋銀行においてより保守的に将来課税所得の見積額を見直したことに伴い法人税等調整額が増加したことや北洋銀行の優先株式に対する配当金を少数株主利益として計上したことなどにより、中間純利益は113億円と前年比36億円の減益の見通し。

【札幌北洋グループ連結】

（単位：億円）

	H21.9期 （実績）	H22.9期		H22.9期 当初予想	当初予想比
		（速報値）	前年比		
経常収益	923	866	57	840	26
連結コア粗利益	607	613	6	595	18
資金利益	487	503	16		
役務取引等利益	93	95	2		
その他業務利益	26	14	12		
経費（除く臨時処理分）	375	395	20	390	5
連結コア業務純益	232	218	14	205	13
信用コスト	90	38	52	115	77
有価証券等関係損益	17	0	17	0	0
経常利益	164	187	23	95	92
中間純利益	149	113	36	75	38

連結コア粗利益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益 - 国債等債券関係損益

信用コスト = 貸倒償却引当費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 貸倒損失額

有価証券等関係損益 = 国債等債券関係損益 + 株式等関係損益 + 金銭の信託運用損益

連結コア業務純益 = 連結コア粗利益 - 経費（除く臨時処理分）

【ご参考：北洋銀行】

（単位：億円）

	H21.9期 （実績）	H22.9期		H22.9期 当初予想	当初予想比
		（速報値）	前年比		
経常収益	761	703	57	680	23
コア業務粗利益	574	579	5	564	15
資金利益	485	501	16		
役務取引等利益	72	73	0		
その他業務利益	16	4	12		
経費（除く臨時処理分）	366	386	20	381	5
コア業務純益	208	193	15	183	10
信用コスト	64	21	42	95	74
有価証券等関係損益	17	0	16	0	0
経常利益	168	181	13	93	88
中間純利益	146	128	18	75	53

3. 主要勘定残高（北洋銀行）

- ・資金量末残は、個人預金、法人預金及び公金預金ともに増加し、6兆6,926億円と前年比970億円の増加の見通し。
- ・預かり資産末残は、公共債保護預かり及び投資信託は減少したものの、個人年金保険等の増加により7,222億円と前年比436億円の増加の見通し。
- ・貸出金末残は、個人向け及び地公体向け貸出の増加を主因に、5兆1,770億円と前年比785億円増加の見通し。
- ・有価証券は、価格変動リスクの高い有価証券を削減したことにより、1兆5,538億円と前年比46億円減少の見通し。

【北洋銀行】

（単位：億円、％）

	H21.9 末 （実績）	H22.9 末 （速報値）	前年比	
			前年比	年率
資金量	65,956	66,926	970	1.4
預かり資産	6,786	7,222	436	6.4
貸出金	50,985	51,770	785	1.5
有価証券	15,584	15,538	46	0.2

資金量 = 預金 + 譲渡性預金

預かり資産 = 公共債保護預かり + 投資信託 + 個人年金保険等（販売累計額）

4. その他有価証券の評価損益

- ・その他有価証券の評価損益は、相場下落の影響等により、札幌北洋グループ連結で673億円と3月末対比151億円減少の見通し。
- ・北洋銀行では、662億円と3月末対比151億円減少の見通し。

（単位：億円）

	札幌北洋グループ			北洋銀行		
	H22.3 末 （実績）	H22.9 末 （速報値）	3月末比	H22.3 末 （実績）	H22.9 末 （速報値）	3月末比
その他有価証券	824	673	151	813	662	151
株式	285	237	48	274	226	48
債券	270	381	111	270	381	110
その他	268	54	214	268	54	213

<ご参考>

	H22.3 末	H22.9 末	3月末比
日経平均株価（円）	11,089	9,369	1,720
新発10年国債利回り（％）	1.395	0.930	0.465

5. 金融再生法開示債権（北洋銀行）

- ・金融再生法開示債権は、最終処理の進展等に伴う破産更生等債権の減少により 1,861 億円と 3 月末対比 94 億円減少の見通し。
- ・開示債権比率（部分直接償却後）は、2.73%と 3 月末対比 0.02 ポイント改善の見通し。

【北洋銀行】

（単位：億円、％）

	H22.3 末 (実績)	H22.9 末	
		(速報値)	3 月末比
破産更生等債権	772	656	116
危険債権	822	863	41
要管理債権	360	341	19
金融再生法開示債権	1,955	1,861	94
(開示債権比率)	(3.65)	(3.52)	(0.13)
部分直接償却後	1,462	1,436	26
(開示債権比率)	(2.75)	(2.73)	(0.02)

当グループでは部分直接償却未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。
 開示債権比率 = 金融再生法開示債権 ÷ 総与信 × 100

以上

業績予想ならびに速報値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想等であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績は、様々な原因によりこれらの業績予想値等とは異なる可能性があります。